

## ☆第2土曜日

7月の第2土曜日の活動は朝からムツとする天気の中でのスタートとなりました。



テングス病の退治

観察会のテーマは「動物の名前

のつく植物」をとりあげました。例として「カラスノエンドウ」は、種が熟すると鞘が真っ黒になるためカラスのような色の野に生える豌豆という由来で名前がついている、といった感じで話させていただきました。

最初はくさはら広場へ行き、花卉の模様が鳥のホトトギスの胸にある羽の模様に似ているというヤマジノホトトギスや、花が咲く頃にヒヨドリが大きな声で鳴き始めるとされるヒヨドリバナ、本来の種よりも見た目や味が劣るという意味合いで「イヌ」が付けられたイヌザンショウやイヌザクラなどを森に生えている実物を手にとって紹介しました。そのほか、大きくて食用にもならず役に立たないことからカラスの名を当てられたカラスザンショウや、和辛子の仲間なのに辛さが無く使えないというイヌガラシを紹介しましたところ、参加者の方から、「犬に失礼だろう」という感想をいただきました。これらの植物が名付けられた時代には、「役に立たないものは犬やカラスにでも食わせておけ」といった考え方がなされていたのでしょう。また水辺の林に移動して、葉が植物の牡丹に似ているのでさぞきれいな花が咲くだろうと心待ちにしていたら、予想と全く違う花が咲いたのでキツネに化かされたようだという逸話から名前が付けられたキツネノボタンという草を紹介しました。またイタヤカエデの所では、葉の形がカエルの前足（=手）に似ていたことから「かえるで」、それが訛って「かえで」になったという話をしました。そのため本来

は「蝦手」という漢字で表されていたのですが、フウという木の「楓」という漢字が日本に入ってきて混同されてしまい、現在では「楓」を「かえで」と読ますようになった、という話で締め括りました。



魚つかんだ～！

## ☆第2土曜日・作業内容

今月は暑さの厳しい時期なので午前中のみでの作業でした。

### 1. 手刈り班

くさはら広場で、クズやセイタカアワダチソウ、ウドの手刈りをしました。夏場は再生が速いので繰り返し刈らなくてはなりません。

### 2. 水路の外来種退治班

バイカモの周りがある外来種のカナダモを手でより分ける作業をしました。地味で根気のいる作業です。

### 3. 機械刈り班

屋外トイレの周辺に生えてきたササを草刈り機できれいにしました。下草を刈ることで地面に光が当たり、植物の生育を助けます。

### 4. 竹林間伐班

駐車場側の竹林でテングス病にかかった竹を切り出しました。病気の竹を放っておくと竹林全体に広がってしまう危険があります。

### 5. 昼食づくり

冷や汁&夏野菜アラカルトということで、ご飯が進む冷や汁と栄養たっぷりの夏野菜をふんだんに使った色とりどりの料理でした。

今年の7月で、遊林会が活動を開始してから、17年目に突入しました。森の生き物も遊林会のメンバーも絶えず変化していますが、皆様のご協力あつての活動であることは変わりません。これからもよろしくお願いたします。

**8月9日(第2土曜日)、27日(第4水曜日) 9時～(遅刻可)**

遊林会の作業会議は **8月27日(水) お昼頃** \*時間変更しています

**主催者：遊林会**

連絡先(遊林会事務局)：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : [ikimono@e-omi.ne.jp](mailto:ikimono@e-omi.ne.jp)

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

## ☆第4水曜日の作業

連日30℃を超える暑さが続き、この日も朝から暑い一日でした。この日の作業は、草刈りと水辺の作業の2つです。

①草刈りは、水辺の林にドングリの実生などを植栽した場所の機械刈りです。汗だくになりながらの作業でしたが、休憩前に予定の場所を終えてしまいましたので、川沿いのササなどを刈っていただきました。

②水辺の作業は、野鳥観察小屋の前の深い池に落ち葉が大量にたまっていたので、腐って泥になる前に水からあげました。

この日のお昼ごはんは、たまごかけご飯、とろろ汁、南瓜の煮物、夏野菜のサラダなど美味しくいただきました。

## ☆7月の木ままクラブ

7/17 12人 7月の作業は草刈りが多くなります。この日も、機械刈りと手刈り部隊に分かれて作業しました。機械刈りは、ケヤキの林にドングリの実生などを植栽した場所がありますが、草の背丈が実生より高くなってきたので草刈り機で刈っていただきました。手刈り部隊は、モリイコ！で川たんけんの時に通る水路沿いを刈っていただきました。

## ☆夏休みクイズラリー大盛況！

7月23日から、参加無料、申し込み不要のクイズラリーが始まりました。森をまわってクイズにチャレンジすると、スタッフお手製プレゼントがもらえます。今年はスギの笛です。休館日の月曜と、8月13・14・15日以外は、毎日行っていますので、帽子と水筒を持ってぜひ挑戦しに来てくださいね！

## ☆遊林会の法人化に関して

遊林会の法人化にあたり、大きな問題だったのは、会員の問題と、それにまつわる会費の問題です。NPO 法人になると、それを運営する正会員を定める必要があります。正会員は総会に出席し、会の方針を決める責任が発生します。そして、その運営を支えるために、会費も発生します。そういった”正会員”という”縛り”が気軽な里山保全の参加を妨げると考え、これまで遊林会は会員制をとっていきませんでした。それが遊林会の特徴でもあ

り、そのためこれまで17年以上も続けていくことができています。

この良さを残しつつ、なおかつ新しい形が作れないものかと考え、遊林会メンバーや色々な人に相談し、悩んだ結果、3つの会員枠を作る事になりました。

まず1つめは、正会員。年に1回の総会に参加し、議決権を持ち、一緒に遊林会の方針を決める会員さんです。年会費は2,000円です。2つめは、賛助会員。議決権はありませんが、会を賛助していただく会員さんです。会費は一口、1,000円からです。

3つめは、ボランティア会員。議決権はありませんが、遊林会の活動に参加し、森の保全を行っていただく会員さんです。会費はなし。活動だけでも気軽に参加しようとする方の枠です。なお、それぞれ会員になっていただくのは、9月以降認証をうけてからを予定しています。

## ☆モリイコ！の子どもたち

3回目をむかえたモリイコ！の活動。暑い中元気に森へ集まった子どもたちは、午前中は草花遊び、午後は川を探検しました。森の中の川へ入り、下流から上流へみんな歩きながら、サワガニや魚などいきものつかみをしました。ザリガニなど触るのが初めての子も、触り方を教わって挑戦してみました。はじめは怖がっていましたが、触れるようになると達成感いっぱいではしゃいでいました。

モリイコ！Sの3回目はみんなで昼食作り。生地をこね、野菜を刻んでトッピングをし、かまどもブロックで組み、たき火をして焼くまで自分たちでしました。作るのも食べるのも楽しくおいしくいただきました。午後からはSラボと題して植物を研究。今回はファールブルで植物を拡大して観察しました。20倍のサイズに拡大してみると、おもしろい葉っぱの模様を見つけたりとげとげの様子に驚いたりと様々な発見がありました。

## ☆8月の作業は…

8月も暑いのでお昼までの作業です。草刈り、ナラ枯れ対策、そして毎年8月のお昼は「男の料理」で、焼きそばです！大きな鉄板で豪快に作りますよ～！